

回答
ANSWER

質問
QUESTION



やすい まこと
安井 忠

平成28年度予算と財政改革について

財政健全化に向けて取り組みます

〔町長〕

質問 平成28年度の町税が20億円を下回りました。過去にさかのぼること23年前の平成5年以来的ことです。27年度20億円、28年度19億円と減少する中、町内事業所の生産停止の影響を大きく受ける平成29年度・30年度の税収をどのように予測していますか。税収の減少以外にも財政調整基金の減少も

あげられます。スマートインター基金はすでに大きく減少してしまいが、本体工事の負担金や中地区の整備の財源は大丈夫でしょうか。また「平成27年国勢調査の速報」では、「町の人口が大幅に減少しているため早急な対策が必要である」と述べられています。具体的にはどのような対策を実施しますか。

回答 税収確保のため企業誘致を推進し、現在工事中や立地が決定している企業も数社ありますが、すぐには反映できなく、27年度計上額より下回ると思われます。

このような観点から、税収や人口が減少する中、歳出だけは2年連続で60億円を超える予算になっていますが、税収が23年前に戻った以上、平成5年度の一般会計予算額・町人口・職員数などを比較検証するなどして、早急に財政健全化に取り組む必要があると思います。町長の考えをお聞きします。

基金残高も減少しています。スマートIC関連整備には国の交付金と地方債とスマートIC建設基金、ふるさと基金を充てています。財政調整基金は予算編成上取り崩しており、極力節約に努め取り崩しのない財政運営を目指します。スマートICは町の発展にとって必要な事業のため最優先で取り組みます。人口減少対策は、移住・定住人口の増加に向け企業誘致それに伴う雇用拡大や住宅取得に対する支援、空家の有効活用・Uターン・Iターン支援・子育て支援として児童クラブの拡充にも取り組めます。財政健全化に向けて検討を進めています。職員の間の見直しを含め運用方法・統合・町有財産の有効活用などを検討事項としています。

